



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社サンセイランディック 上場取引所 東  
 コード番号 3277 URL <http://www.sansei-l.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松浦 正二 (TEL) 03-3295-2200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	7,091	25.6	747	581.9	626	—	378	—
25年12月期第3四半期	5,647	20.8	109	—	28	—	2	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 378百万円( —%) 25年12月期第3四半期 2百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	54.92	54.05
25年12月期第3四半期	0.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	7,684	4,205	54.7
25年12月期	8,918	3,867	43.4

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 4,205百万円 25年12月期 3,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年12月期	—	3.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,086	9.8	1,162	26.4	992	22.6	605	32.9	87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	6,900,000株	25年12月期	6,900,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	148株	25年12月期	148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	6,899,852株	25年12月期3Q	6,899,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 受注、仕入及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、景気は、緩やかな回復基調が続いております。雇用情勢は着実に改善しているものの、個人消費は持ち直しの動きに足踏みが見られ、設備投資も増加傾向にあるものの、弱い動きが見られております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による住宅建設、マンション総販売戸数の減少が緩やかになってきております。住宅建設の先行きについては、当面、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が残るものの、次第に下げ止まりに向かうことが期待されます。

このような状況の中で、仕入情報チャネルの拡大を図り、安定的な事業成長の継続と今後の利益の源泉となる物件仕入の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,091百万円（前年同期比25.6%増）となり、不動産販売事業において、全体的に利益率の向上が見られたことにより、営業利益747百万円（前年同期比581.9%増）、経常利益626百万円（前年同期は28百万円の経常利益）、四半期純利益378百万円（前年同期は2百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### ① 不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、底地198件、居抜き物件19件、所有権物件19件の販売をいたしました。その結果、売上高は6,088百万円（前年同期比28.7%増）となり、セグメント利益は1,246百万円（前年同期比75.0%増）となりました。

#### ② 建築事業

建築事業におきましては、戸建・リフォーム工事等157件の販売をいたしました。その結果、売上高は1,019百万円（前年同期比3.4%増）となりセグメント損失は56百万円（前年同期は201百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,233百万円減少し、6,789百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少379百万円、売掛金の増加26百万円、販売用不動産の減少903百万円によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ1百万円減少し、894百万円となりました。これは、主に無形固定資産の減少10百万円、投資その他の資産の増加17百万円によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,649百万円減少し、2,937百万円となりました。これは、主に買掛金の減少153百万円、短期借入金の減少1,156百万円、その他流動負債の減少384百万円によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ76百万円増加し、541百万円となりました。これは、主に社債の減少31百万円、長期借入金の増加98百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ337百万円増加し、4,205百万円となりました。これは、利益剰余金の増加337百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月14日の決算短信で公表しました平成26年12月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日、平成26年11月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想は、当社が現時点で入手した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後、修正の必要が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

##### ・税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

##### ・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### ・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,185,943	806,027
売掛金	210,866	237,466
販売用不動産	6,346,679	5,443,350
未成工事支出金	4,340	15,089
貯蔵品	3,885	2,943
その他	295,261	290,894
貸倒引当金	△23,479	△5,813
流動資産合計	8,023,497	6,789,957
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	511,242	511,242
減価償却累計額	△56,315	△62,421
賃貸不動産(純額)	454,927	448,821
その他	113,932	111,772
有形固定資産合計	568,859	560,593
無形固定資産	100,405	90,188
投資その他の資産		
その他	227,343	284,484
貸倒引当金	△1,206	△41,123
投資その他の資産合計	226,136	243,360
固定資産合計	895,402	894,143
資産合計	8,918,899	7,684,100
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	504,617	351,251
短期借入金	3,171,481	2,014,581
賞与引当金	—	45,500
その他	910,432	526,035
流動負債合計	4,586,531	2,937,368
固定負債		
社債	159,500	128,000
長期借入金	259,115	357,615
資産除去債務	4,291	4,339
その他	41,756	51,503
固定負債合計	464,663	541,458
負債合計	5,051,194	3,478,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	257,000	257,000
資本剰余金	218,000	218,000
利益剰余金	3,392,758	3,730,327
自己株式	△53	△53
株主資本合計	3,867,704	4,205,273
純資産合計	3,867,704	4,205,273
負債純資産合計	8,918,899	7,684,100

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,647,900	7,091,656
売上原価	4,072,578	4,783,261
売上総利益	1,575,322	2,308,394
販売費及び一般管理費	1,465,640	1,560,446
営業利益	109,682	747,948
営業外収益		
受取利息	1,082	1,557
受取配当金	109	109
違約金収入	672	3,373
損害保険金収入	1,651	502
その他	8,714	6,495
営業外収益合計	12,229	12,037
営業外費用		
支払利息	60,766	81,974
支払手数料	5,230	5,603
貸倒引当金繰入額	20,076	19,918
その他	6,904	26,126
営業外費用合計	92,977	133,622
経常利益	28,934	626,363
税金等調整前四半期純利益	28,934	626,363
法人税等	26,532	247,395
少数株主損益調整前四半期純利益	2,401	378,968
四半期純利益	2,401	378,968

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,401	378,968
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	2,401	378,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,401	378,968
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,730,785	917,115	5,647,900	—	5,647,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	68,078	68,078	△68,078	—
計	4,730,785	985,193	5,715,978	△68,078	5,647,900
セグメント損益(△は損失)	712,099	△201,346	510,752	△401,069	109,682

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△401,069千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,088,523	1,003,132	7,091,656	—	7,091,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,917	15,917	△15,917	—
計	6,088,523	1,019,049	7,107,573	△15,917	7,091,656
セグメント損益(△は損失)	1,246,093	△56,514	1,189,578	△441,630	747,948

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△441,630千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 受注、仕入及び販売の状況

## ① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建築事業	1,257,908	125.4	655,680	154.9

- (注) 1. 建築事業以外は受注を行っておりません。  
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 4. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

## ② 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区画数	前年同期比(%)	仕入高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	312	83.0	3,039,361	74.0
うち底地	279	84.0	1,667,117	88.4
うち居抜き物件	23	63.9	1,095,133	89.6
うち所有権	10	125.0	277,111	27.7

- (注) 1. 不動産販売事業以外は仕入を行っておりません。  
 2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。  
 3. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。  
 4. 底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜き物件と所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	件数	前年同期比(%)	販売高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	236	70.0	6,088,523	128.7
うち底地	198	69.2	2,869,244	97.9
うち居抜き物件	19	95.0	2,273,051	378.2
うち所有権	19	61.3	700,731	72.3
その他の不動産販売事業	—	—	245,496	106.7
建築事業	157	117.2	1,003,132	109.4
合計	—	—	7,091,656	125.6

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。  
 3. 「件数」については、不動産販売事業においては売買契約、建築事業においては受注契約の件数を記載しております。  
 4. 底地・居抜き物件・所有権の区分については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。  
 5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。  
 6. 建築事業の件数・販売高につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおります。